

# 外 科

## I. 特徴

当院の外科は、消化器外科、乳腺外科を専門としているが、内視鏡外科、一般外科、外傷などの研修も可能である。手術数は、年間約 400 例である。また、がん疾患においては、単に外科的治療のみならず、抗がん剤治療、放射線治療などの集学的治療や緩和ケアを念頭においた継続的治療を積極的に展開しており、オンコロジーの基本的知識や技術も学べる研修を行う予定である。

## II. 募集人員

外科一般および外科専門医を目指した研修 1～2名

## III. 研修期間及び研修内容

研修は原則的に1年毎の更新で最長3年間とし、専門医の資格をとることを希望する医師は、2年目あるいは3年目に東北大学医学部第一外科を含む東北大学外科系教室での研修を提供する。なお、2年目より国内研修（期間は相談の上で検討）を予定している。

## IV. 認定施設

日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本消化器外科学会専門医修練施設

## V. 指導医リスト

研修指導責任者 : 杉 田 純 一 (外科診療部長)  
指導医 : 阿 部 永 (外科長)  
設 楽 英 樹 (外科長)  
小 田 聡 (外科長)

## VI. 関連施設 東北大学医学部第一外科

## VII. 研修内容

当院外科チームの一員として積極的に臨床医療に参加し、可能な限り迅速に一外科医として適切な判断能力と問題解決能力を獲得することを目標とし以下のことを経験する。

- 1) 虫垂切除術、鼠径ヘルニア根治術などいわゆる初歩の手術から胃癌、大腸癌、乳癌の手術、また、特殊な修練が必要とされる腹腔鏡手術（胆嚢摘出術、虫垂切除術、結腸切除術など）の執刀、助手。
- 2) 上記手術を含む一般外科、消化器外科、乳腺、甲状腺外科の周術期管理。
- 3) 消化管内視鏡、消化管造影検査、超音波検査（腹部、乳腺、甲状腺）ならびに超音波を使用した経皮経肝胆道ドレナージなどの侵襲的治療、血管造影検査や TAE などマンモグラフィー検査等の検査の施行ならびにその診断。
- 4) 抗癌剤治療医として、薬剤に精通し、プロトコールの選択やその実施に際する管理。

5) 院内の感染制御チーム (ICT)、栄養サポートチーム (NST)、緩和ケアチームなどに参加し、その活動内容について理解、実践。